

## 令和元年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	穂の国とよはし芸術劇場
所在地	豊橋市西小田原町123番地
指定管理者	(公財)豊橋文化振興財団
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
担当課	文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課(0532-51-2873)
平成30年度指定管理料(決算)	71,842千円
令和元年度指定管理料(決算見込)	72,938千円

	項目	基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	維持管理業務は特別目的会社が行っている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	事業計画書に基づき実施されている。実施している事業は優れた舞台芸術に接する機会を市民に提供し、豊かな創造性と情操の涵養に寄与している。また、事業を通して若手アーティストの育成の場や、市民と劇場とを結びつける場を提供している。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	事業計画書とおりに適切に人員配置がされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。今後は更に、内部での情報共有を図り、チェック体制についても再度精査する必要がある。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	事業計画書に基づき定期的に研修が実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	マニュアル、非常連絡網が整備され、定期的に避難訓練等も実施されていることから、十分な取り組みがなされている。				
施設利用状況に関する事	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、規則・要綱に則り適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して平成30・令和元年度を比較)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	比較(R1-H30)
			開館日数	348日	348日	349日	1日
			利用者数				
			a. 主ホール	103,868人	110,312人	101,713人	▲ 8,599人
			b. 7-7スペース	37,037人	37,841人	33,651人	▲ 4,190人
			c. 創造活動室	26,782人	26,941人	24,071人	▲ 2,870人
			d. 研修室	16,576人	16,906人	16,573人	▲ 333人
	e. 交流スクエア	57,292人	61,253人	53,349人	▲ 7,904人		
	計	241,555人	253,253人	229,357人	▲ 23,896人		
		【要因分析】 コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年2月28日から利用自粛を要請したため、利用者数は前年度比9.4%減少した。					
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページやメールマガジン、劇場広報誌をはじめとする各種広報活動により、イベント情報の発信、施設PRを効果的に行っている。</li> <li>・ 劇場の特性を活かした自主事業の実施により、利用者サービス、施設の認知度向上に努めている。</li> <li>・ 芸術文化に関する高い専門性と豊富な経験、知識を有する職員を配置することで、質の高い舞台芸術公演を実施し、市民の鑑賞体験を蓄積するとともに、市内外からの来場者を増やすことでまちなか活性化にも貢献している。</li> </ul>					

項目	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査（アンケート）等を実施し、業務改善を実施しているか。（指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく）	<p>・アンケート調査を実施（令和2年3月） 施設運営に関する総合的な満足度 満足・やや満足…83.3%    わからない…16.7%</p> <p>アンケート結果から、施設に対する総合的な満足度は高いと考えられる。</p>			
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応	
			休日の価格がもっと安くなるとうれしい。施設は清潔で使いやすい。		—	
			自習室があると良い。		—	
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切かつ迅速に行われている。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に実行されている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し、適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していたか。	コロナウイルス感染症の影響から、収入も支出も予算より少なくなった。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	72,938千円	指定管理事業費	143,600千円
			利用料金収入	32,072千円		
			自主事業収入	38,254千円		
その他収入	7,770千円					
		収支差額		7,434千円		
指定管理者の自己評価	<p>開館7年目となり、桑原裕子氏の芸術文化アドバイザーのカラーを打ち出した企画を実施しました。</p> <p>開館記念日にあわせて、年間プログラム説明会を行い、市民と劇場との対話の機会を設けたほか、年始に餅つきイベントを開催し、新年から多くの市民の方が気軽に劇場に訪れ、楽しんでいただける機会を設けました。</p> <p>プラッチケットセンターの認知度と利用状況も一定のレベルを維持し、チケット販売額は前年度を超え一層安定的な状況になってきています。</p> <p>自主事業は、舞台芸術の鑑賞機会の創出と、東三河高校演劇部支援や若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業や、地域のアートイベントとの連携など、東三河市民の芸術文化活動の拠点としての運営に努め、広範囲から集客するなど、一層広く認知されてまいりました。</p> <p>平成28年度から実施している創造活動室E・F・Gの利用料金の引下げは、前年度に引き続き創造活動室E・F・Gの稼働率の平準化につながるとともに、音楽を自ら楽しむ市民のニーズの掘り起こしに努めています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末に施設利用の取消、延期等の影響から、各施設とも稼働率は概ね前年度を下回る結果になりました。</p>					
総合評価	<p>利用者からの意見を見ても、施設の快適さ、使いやすさに対する評価が高い様子がうかがえる。</p> <p>劇場ホームページの充実、SNS、エフエムとよはし等を活用した効果的な情報発信がなされており、イベント集客や施設の認知度向上に結びついている。</p> <p>今後も質の高い芸術に触れられる機会を提供するとともに、芸術文化活動を支える人づくりや新たな芸術文化を創造する拠点施設として運営していく必要がある。</p>					